

●ねぶた囃子●

えんそうする ちいき	青森県青森市	えんそうする お祭り	青森ねぶた祭
お祭りの とくちょう	<p>お祭りについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 毎年8月2日～7日に、青森市で行われるお祭りです。 ◇ 青森県では、ちいきによってさまざまな「ねぶた(ねぶた)祭り」が行われており、「青森ねぶた祭」はそのひとつです。 ◇ ねむけやつかれをとって、元気をとりもどすために行われた「ねむり流し」という行事が、ねぶた(ねぶた)祭りのはじまりといわれています。 <p>ねぶたについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 青森ねぶた祭のねぶたは、紙でできた人形のかたちをした大きなとうろうをだしのの上に乗せ、ちょうちんやかんばんでかざったものです。 ◇ 青森ねぶた祭では、ハネトというおどり手たちが、「ラッセラー」というかけ声をかけながら、ねぶたといっしょに町を回ります。 		
祭りばやしの とくちょう	<p>使われる楽器について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 使われる楽器は、たいこ(おけ胴だいこ)、ふえ(しのぶえ)、かねです。 ◇ たいこは、打面の直けいが1m 近くある、とても大きなたいこを使います。ねぶた囃子では、板をはり合わせた胴の両がわをかわではさんで、ひもでしめた「おけ胴だいこ」というしゅるいのたいこを使います。 ◇ かねは、まん中がおわんのようにふくらんだ円ばんを、シンバルのように打ち合わせて音を出す「手ぶりがね」というかねを使います。 <p>囃子のしゅるいについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ ねぶたが町を回るときにえんそうする「進行」、ねぶたが小屋に帰るときにえんそうする「戻り」、お祭りのさいしゅう日にえんそうする「七日日」など、10しゅるい以上の囃子がつたえられています。 		